

1 次の線の漢字は平仮名に、片仮名は漢字に直して書け。送り仮名が必要なものは、送り仮名も書くこと。

- (1) 一抹の寂寥感を覚える。 ( )
- (2) 忌憚なく意見を述べる。 ( )
- (3) 嗚咽する声もれる。 ( )
- (4) 窓から快い風が入ってくる。 ( )
- (5) 危つく大惨事を免れた。 ( )
- (6) 祖父はキツスイの江戸っ子だ。 ( )
- (7) 自慢話をフイチヨウしてまわる。 ( )
- (8) 前任者の方針をトウシユウする。 ( )
- (9) ウヤウヤシク頭をさげる。 ( )
- (10) 支払いがトドコオル。 ( )

2 次の(1)～(3)の最初に示された二語は同義語か対義語の関係にある。これと同じ関係を表す語を下からそれぞれ選び、記号で答えよ。

- (1) 書要 供給 ( )
- (2) 奢侈 旅館 ( )
- (3) 温厚 安価 ( )
- (4) 粗末 贅沢 ( )
- (5) 質素 豪華 ( )
- (6) 興味 趣旨 ( )
- (7) 温暖 厚意 ( )
- (8) 穏便 穩和 ( )
- (9) 娯楽 工行楽 ( )

3 次の(1)～(5)の最初に示された二語の関係を考え、これと同じ関係になる語を下から選び、記号で答えよ。

- (1) チーズ 牛乳 ( )
- (2) 豆腐 野菜 ( )
- (3) 大根 魚類 ( )
- (4) イモリ 不養生 ( )
- (5) 医者 着物 ( )
- (6) 紺屋 腕押し ( )
- (7) 暖簾 泥鰌 ( )
- (8) 柳 雪折れ ( )
- (9) ホテル 宿泊 ( )
- (10) 鉛筆 文房具 ( )
- (11) 作文 筆記 ( )
- (12) 工習字 工白袴 ( )
- (13) 工白袴 工腰 ( )

4 次の(1)～(6)のうち、線の言葉が正しく使われている文をすべて選び、数字で答えよ。

- (1) 六日の高瀬 十日の菊といったところで、タイミングよく電車がやってきた。
- (2) このような千載一遇のチャンスは決して逃すべきではない。
- (3) この辺りは春秋に富む景色が広がり、とても素晴らしいところである。
- (4) 母に、友達と一人でキャンプに行く許可を得ようとしたが、とりつく島もなかった。
- (5) 彼は気の置けない人だから、あまりうかつなことは言わない。
- (6) 枯れ木も山の賑わいと申しますから、パーティーには先生にも是非参加して頂きたいと存じます。

( )

5 次の線の片仮名を漢字に直して書け。

- (1) 交通キセイを行う。( )
- (2) 違法電波をキセイする。( )
- (3) キセイ服を買う。( )
- (4) キセイ概念を打ち破る。( )
- (5) 基本的人権をホシヨウする。( )
- (6) 遺族に損害をホシヨウする。( )
- (7) 彼の身元をホシヨウする。( )
- (8) 危険を才力す。( )
- (9) 過ちを才力す。( )
- (10) 国境を才力す。( )
- (11) 多くの評論家がススめる映画を見た。( )
- (12) 祖母に転地療養をススめた。( )

6 次の(1)～(4)の文には誤って使われている敬語がある。それに引き、右横に正しく書き直せ。線を書け

- (1) 先生の申される意見に賛成です。( )
- (2) 父はあとから参りますので、どうぞ、お先にいたいてください。( )
- (3) お客様が庭を、覽になられたいそつです。( )
- (4) 母が先生にお伝えするよつにおつしゃいました。( )

7 次の文を読んで、あとの問いに答えよ。

「ダイジェスト」というもの 多くの雑誌に現われる論文や記事の定期的な抄録は、事柄によってはたいへん役に立ち、事柄によってはただまじがいのもとであり、読み方によっては「このうえもなく便利なもの」で、読み方によっては読む人を浅薄にする以外になんの効用もない。抄録雑誌の類は、それが社会生活、ことに政治にからんでの社会問題を多く扱っている場合には、人を誤らせる危険の大きいものでしょう。そういう事柄については、人によって意見の違つのが当然です。またことに、国内的な規模でも、国際的な規模でも、二つの勢力が争っているときには、特定の編集者に、いわゆる客観的で公平な立場を、期待することはできません。

- (1) 線 の品詞名と活用形を答えよ。ただし、活用しない語句は×と答えること。  
( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
- (2) 線 ないと同じ意味・用法のものを次から選び、記号で答えよ。  
ア 答えがわからない。 イ 今日(けふ)は宿題がない。  
ウ この本は面白くない。 エ 彼は言葉数が少ない。( ) ( )

8 次の各問いに答えよ。

- (1) 次の説明にあたる文学作品をあとから選び、それぞれ記号で答えよ。  
男性が仮名で書いた最初の文学作品 国司の任を終えた京までの船旅を、女性が記した形をとる。  
宮廷生活のできごとや、自然界の四季折々の様子を女性らしい完成で文章にまとめた。  
ア 徒然草 イ 枕草子 ウ 源氏物語 エ 土佐日記
- (2) 次の書き下し文を参考にして、返り点をつけよ。  
青は之を藍より取りて、藍よりも青し。  
〔青取之於藍、而青於藍。〕

【課題】次の文章を読んで、高校入試によく出題されるような読解問題を2つ作り、問題と解答を下段に書いて下さい。

- 【注意】
- 1 本文に線を引いたり、虫食いにしてもかまいません。
  - 2 正解が1つに決まるような問題にして下さい。
  - 3 漢字、文法の問題はつくらないで下さい。

障子では、一箇所破れたといっても全部取り替えるようなことはしない。そればかりか、破れた榭の一五センチ角ぐらいの紙全体を切り取ってそこに新しい紙をはるといつようなことさえ、初めはしない。まずは、破れた所を元に戻し、破れ目に、紙を紅葉の葉にかたどってはるといつようなことをする。すると、その障子は、修理する以前よりも美しくなる。たいていのものは壊れる前を二〇〇とすれば壊れて三〇、直して八〇がいいところだが、障子は破れる前が二〇〇で、直せば二三〇にもなる。壊れて修理したほうがより美しくなる。パリから有名なデザイナーが来て、日本の建築をあちこち見て歩いたとき、破れた障子に、紅葉や桜がはってあるのに、いたく感じ入って、そればかりカメラに収めて帰ったという。

今日、機械はどんどん進歩して、壊れたからといって素人が手を出すことはできない。専門家にしか直せないものほど、進歩的で価値あるものと思いがちだ。もちろんその考えもあながち間違っているではない。だが、素人にすぐ直せるようなものを軽く見るようになると間違ってしまう。

ものを直すということは人間にとって非常にだいじなことであり、道具といつものにはんとつこの愛情を感じる源でもある。修理は機械と人間とが一体となることなのだ。